

空調機自動制御装置 (ENE-LINK)

Profile (KP1405/Dec.2014)

時間制御プログラムによる室温管理が実現した大幅な電気代削減
コンプレッサの稼働状況を計測し、室内環境を変えずに消費電力の削減を実現！



導入効果

圧縮機37KW×2台に設置

削減効果
約102万円
※年間

費用対効果
約9月

ザ・グランリゾートプリンセス有馬(大倉ホテルグループ)のヒートポンプチラーユニット(圧縮機37kw×2台)に空調機自動制御装置をご導入いただきました。制御率を15%(30分間で約4分30秒停止)に設定し、デマンドピークカットと電気使用量の削減が可能となります。本装置では、宿泊・ホテルスタッフの快適な環境を担保し、室温を一定以上、下げないように時間制御プログラムを行いました。尚、制御率のプログラムは季節や時間に応じ変更可能となります。本装置により、従来見えなかった削減量をデータ化し、制御効果の検証にもお役立ていただけます。

POINT
1

時間制御プログラムで室温環境を変えずに電気を削減

POINT
2

デマンドピークカットと使用量削減のW効果

POINT
3

空調機ごとに設置出来るため、施工費用の大幅な負担減を実現



株式会社K PLANNING

エネルギー削減パートナー

当社のコスト削減提案は、お客様に費用対効果とその根拠を提示することから始まります。お客様の現状を分析し、様々な選択肢の中から最も費用対効果の高い取り組みを提案いたします。

会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配布される時点では変更されている可能性があることをご了承下さい。この記事は2014年9月に作成されました。